

のズ 議員定数と報酬削減を

生駒市議会
直接請求へ16日から署名

生駒市議会の議員定数と
報酬の削減を求め、市民オ
ンブズマン「見張り番・生
駒」(阪口保代表幹事)は

7日、地方自治法に基づき、直接請求の署名活動を始めるのに必要な書類を市に提出した。同オンブズマンは、定数を24から18に、月額約57万円の報酬を約3割削減して39万9000円とする条例改正に向け、16日から1か月間、署名活動を実施するとしている。

地方自治法では、直接請求は有権者の50分の1の署名が必要としており、有権者約9万5000人の同市では、約2000人分が目安。有効な署名数が上回り

本請求があれば、市長は意見をつけて議会に改正案を提出しなければならない、と規定している。阪口代表幹事は「議会改革は進んでおらず、主張通りになれば議員に関連する費用が半減できる」と理由を説明した。

市議会の改革を巡っては、市民の有志が「市議会議員の定数と報酬の削減を求める会」(池田司代表)を結成。議員定数を20に、報酬は15%以上の削減を掲げ、10月にも署名活動の開始を予定している。